

# 超音波レベル計 EchoTREK 2 線式 SE/SG-300 シリーズ

# 取扱説明書





## 安全上の注意

この取扱説明書では、機器を安全に使用していただくために次のようなシンボルマークを表示しています。



取扱を誤った場合に、使用者が死亡または負傷を負う危険の状態が生じることが想定される 場合、その危険を避けるための注意事項です。



取扱を誤った場合に使用者が軽傷を負う、または物的損害のみが発生する危険な状態が 生じることが想定される場合の注意事項です。

### 製品取扱上の注意

## 設置上の注意



① 本製品の指定された箇所以外の改造や分解は行わないでください。製品や周辺機器の損傷、 発火や感電等の可能性があります。

② 機器の規定する定格圧力や接続規格、定格温度以外では使用しないでください。破損による

③ タンク等から液体の流出防止として、ハイレベル以上にレベルスイッチ等による安全対策の 処置をしてください。



- 設置後、本機を足場などに使用しないでください。機器が破損し、けがの原因となります。
- ② 表示のガラス部分は工具などを当てますと破損し、けがをする可能性があります。
- ③ 設置は正しく行ってください。設置が不十分な場合や行われなかった場合、出力の誤差や該当す る規則に違反することがあります。
- ④ 機器の分解組み付けは、機器の破損や測定不能の原因になりますので行わないでください。
- ⑤ 超音波式液面計は使用する条件(温度、圧力、蒸気、突起物等)の影響を受けやすく測定不能に なる場合があります。
- ⑥ 本体カバーを開放して放置、または使用しないでください。

大きな事故原因となる恐れがあります。

- ⑦ ハウジング内部の電子部品は交換できません。本体ごと交換してください。
- ⑧ センサー部、ハウジング部およびフランジ部の分解組み付けは、機器の破損や測定不能の原因に なりますので行わないでください。

## 配線上の注意



① 配線は濡れた手や通電しながら行わないでください。感電の危険があります。作業は乾いた手や 手袋を用い、電源を切ってから行ってください。



- ① 配線は仕様を十分に確認し、正しく行ってください。間違って配線されますと機器破損や誤動 作の原因となります。
- ② 電源は仕様に基づき正しく使用してください。異なった電源を入力しますと機器破損の原因と なります。

# 目 次

1	はじ	こめに	1
2	型番	<b>5</b> 構成	2
		様	
4	設	置	5
	4.1	液面測定	5
	4.3		6
	4.4	ループ電流チェック	6
5	プロ	1グラミング	7
	5.1	ディスプレイモジュールを使用しないプログラミング	7
		SAP-200 ディスプレイモジュールを使ったプログラミング	
		2.1 SAP-200 ディスプレイモジュール	
		2.2 SAP-200 の LED 表示	
		2.3 QUICKSET	
	5.	2.4 <i>全パラメーターアクセス</i>	12
6	パラ	ラメーター説明	13
	6.1	測定構成	13
		電流出力	
		測定の最適化	
		容量計算(タンク形状補正)	
		体積流量計算	
		32 点リニアライズ曲線	
		情報提供パフメーター	
		一	
		・シミュレーションモード	
		- アクセスロック	
7	エラ	<del>ラー</del> コード	29
8	各種	<b>[ガス中の音速</b>	30
9	パラ	5メーター設定表	31
1(	) h	ラブル対応	32
1	1 メ	ンテナンス	34

## 1 はじめに

この度は、超音波式レベル計をご購入いただき誠にありがとうございます。EchoTREK S-300 シリーズは、NIVELCO 社 (ハンガリー) より東和制電工業㈱が輸入販売するものです。このマニュアルは、超音波レベル計の 製品概要を知っていただくとともにその設置方法、結線方法、および仕様を説明しています。 このマニュアルは超音波レベル計を正しく使用していただくための必要事項が記載されています。 超音波レベル計を取り扱われる方は、ご使用前に必ずお読みください。

#### 用途

超音波レベル計 EchoTREK は、液体のレベルや体積計測、開放水路の流量測定に最適です。超音波の原理を応用した 非接触のレベル測定法は、センサーを被測定物の表面に接触できないアプリケーションに特に適しています。 例として、被測定物がセンサーの材質を腐食する(酸・アルカリ)、汚染の可能性がある(下水)、被測定物がセンサーに付着する(粘着性の物質)などがあります。

#### 動作原理

超音波によるレベル計測は、超音波パルスがセンサーから被測定物の表面までを往復するのにかかる時間を測定するという原理に基づいています。測定したい被測定物の上方に超音波センサーを取り付け、そこから超音波パルス列を発射し、液体表面から反射してきたエコーを受信します。マイクロプロセッサーを搭載したコントローラー部が被測定物表面で反射されたエコーを選びだすことで受信信号を処理し、伝播時間から液面までの距離を計算します。

#### QUEST+™

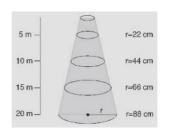
EchoTREK 一体型超音波レベル計は、NIVELCO 社最新ソフトウェア QUEST+TM を使用しています。
QUEST+TM (修正エコー抑制技術) とは、NIVELCO 社最新の信号処理ソフトウェアの名前であり、超音波エコーを解析し最適なレベルを検出します。

EchoTREK は、最新の変換器と QUEST+TM をベースに、貯蔵タンク内で濃い煙霧を生じる薬品、プロセス容器での複雑で動的なタンク内部、発泡性下水など、最も過酷な用途のもとでも正確で信頼できる成果をお届けします。

#### 音波照射

EchoTREK は、片側 2.5° あるいは 3° のビーム角を有し、凹凸のある側壁を持った狭いサイロ内やさまざまな突起物のあるプロセス・タンク内でも信頼できる測定を保証します。

さらにビーム角が狭い結果として、発射された超音波信号は、 すぐれた収束性を持ち、厚いガス、蒸気、気泡層でも貫通します。



ビーム角片側 2.5° と したときのビームの広がり

#### ノウハウ

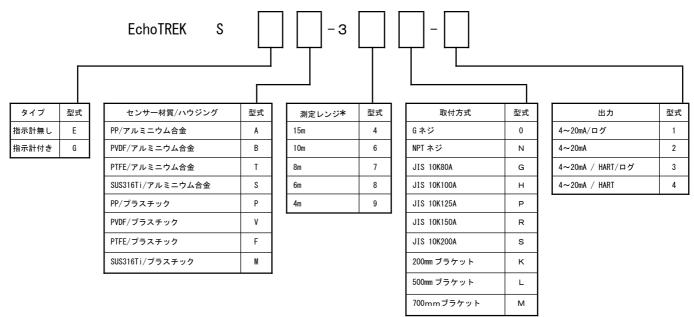
の改良を重ねてきたことです。

NIVELCO 社は、超音波レベル計測に 30 年の経験を有します。熟練した専門家グループが世界中の何万もの使用例を通じ、その経験を最新のハードウェアや強力なソフトウェアにいかすため日々研究をおこなっています。 NIVELCO 社の超音波における成功の鍵は、プロセス制御分野でもっとも過酷なアプリケーションに取り組み、製品

製品の改良のため、技術仕様は予告なく変更することがあります。

# 2 型番構成

注意:一部組み合わせは製作できません。



\*PTFE、ステンレス鋼製のセンサーの測定レンジについては、各モデルの仕様をご参照下さい。

## 3 仕様

## 共通項目

1 4 11 1155	
センサー材質	ポリプロピレン (PP)、PVDF、PTFE、ステンレス鋼 (DIN 1.4571, ANSI SS316Ti)
   ハウジング材質	難燃性プラスチック
ハランファ何貝	アルミニウム合金:粉体塗装
プロセス温度	PP、PTFE、PVDF バージョン: -30°C~+90°C
ノロセヘ血及	ステンレス鋼バージョン: -30℃~+100℃ (CIP120℃ 最大 2 時間)
周囲温度	プラスチックハウジング:-25°C~+70°C、アルミニウム合金ハウジング:-30°C~+70°C
河西温及 	SAP-200 装着時:-25℃~+70℃
許容圧力(abs)	0.05~0.3MPa、ステンレス鋼バージョン: 0.09~0.11 MPa
· 充填材	PP バージョン: EPDM
兀堤州 	PP 以外のバージョン: FPM
ひゃ / ひ 唐 掛 生	センサー: IP68
┃防水/防塵構造 ┃	ハウジング: IP67 (NEMA6)
電源	DC13.4~36V/48~720mW 直流アイソレーション、サージ保護
精度*	(実距離の±0.2%) ± (レンジの 0.05%)
分解能	2m 未満: 1mm, 2~5m: 2mm, 5~10m: 5mm, 10m以上:10mm
	アナログ: 4~20mA,最大終端抵抗 Rmax=(Ut-13.4V)/0.02,電気的に絶縁
   出力	ループテスト用コネクター: レンジ 200mV 電圧計用 2 ピンソケット
<b>エ</b> ガ	シリアル通信:HART インターフェイス(端子抵抗 250Ω)
	表示 (SAP-200): 6 桁、アイコン、バーグラフ、LCD
電气的技体	2×M20×1.5, 2×1/2" NPT
電気的接続 	線径:10~14mm、シールド線:0.5~1.5mm2
電気的保護	Class III (IEC536)

<sup>\*</sup> フラット面からの理想反射

## PP, PVDF センサー EchoTREK2 線式

タイプ	SE□-39□-□	SE□-38□-□	SE□-37□-□	SE□-36□-□	SE□-34□-□
	SG□-39□-□	SG□-38□-□	SG□-37□-□	SG□-36□-□	SG□-34□-□
センサー材質	PP or PVDF				
最大測定距離[m]	4	6	8	10	15
最小測定距離	0.2	0.25	0.35	0.35	0.45
(センサー側不感帯)[m]	0.2	0.23	0.55	0.33	0.43
超音波ビーム角度	6°	5°	7°	5°	5°
測定周波数	80kHz	80kHz	50kHz	60kHz	40kHz
プロセス接続	G1 1/2"	G2"	G2"	フランジ	フランジ

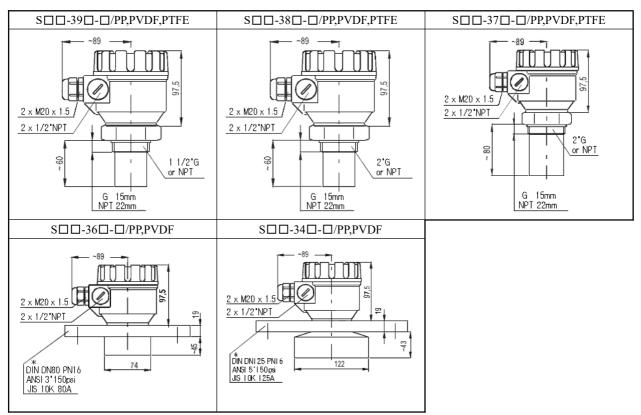
## PTFE, ステンレス鋼センサー EchoTREK2 線式

タイプ	SE□-39□-□	SE□-38□-□	SE□-37□-□	SE□-36□-□	SE□-34□-□
	SG□-39□-□	SG□-38□-□	SG□-37□-□	SG□-36□-□	SG□-34□-□
センサー材質	PTFE	PTFE	PTFE	St.St.	St.St.
最大測定距離[m]	3	5	6	7	12
最小測定距離	0.25	0.25	0.35	0.4	0.55
(センサー側不感帯)[m]	0.23	0.23	0.55	0.4	0.55
超音波ビーム角度	6°	5°	7°	5°	5°
測定周波数	80kHz	80kHz	50kHz	60kHz	40kHz
プロセス接続	G1 1/2"	G2"	G2"	フランジ	フランジ

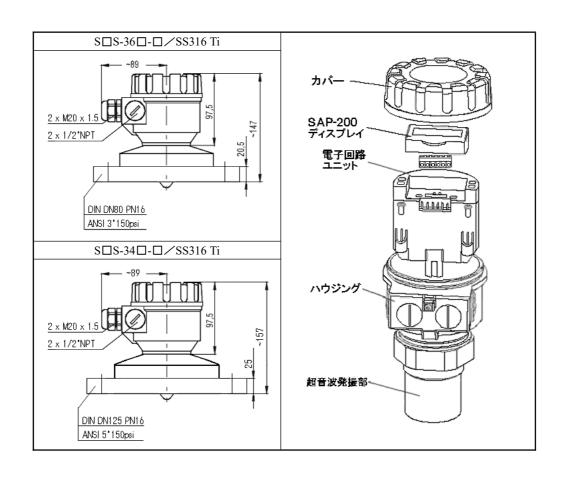
## SAP-200 調整表示モジュール

現場指示	6桁、アイコン、バーグラフ、LCD
周囲温度	-25°C~+70°C
ハウジング材質	難燃性 PBT ファイバーガラス強化プラスチック

#### 外形図



\*最小フランジサイズ



## 4 設 置

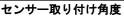
## 4.1 液面測定

## 取り付け位置

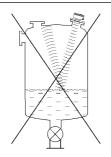
EchoTREK の最適な取り付け位置は、タンク/サイロ の径 R に対して  $(0.3\sim0.5)$  ×R となる位置に取り付けてください。

またタンク天井がドーム形状またはパラボラ形状の 場合、サイロ中央に取り付けないで下さい。

集音効果により阻害波が増大し正常な測定ができない可能性があります。

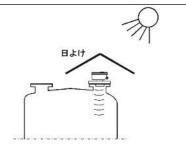


液体表面は常に水平な為、超音波レベル計は水平から±2~3°の最大偏差で取り付けてください。



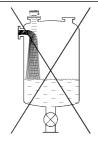
#### 温度

直射日光を避けるように、超音波レベル計を取り付けてください。



#### 突き出し部分

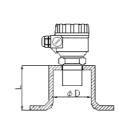
でっぱり (冷却パイプ、 梯子、はり、温度計など) やタンク・サイロ側壁の 欠けた部分が超音波照射 範囲に突き出ていないこ とを確認してください。



#### 筒上げ用円筒

不感帯の影響などを考慮し、「筒上げ用円筒」を使用する場合は、下記の寸 法で製作してください。

「筒上げ用円筒」の構造は賢固ものとし、超音波ビームがパイプから出て行く部分では内側のへりを丸めてください。



L	8	) (mm以上	.)
(mm以内)	S39_	S38_	S37_
150	50	60	60
200	50	60	75
250	65	65	90
300	80	75	105
350	95	85	120

## 煙霧/蒸気

気泡

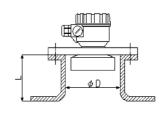
薬品等の液体を貯蔵する密閉タンクにおいて、その薬品が煙霧/ガスを生じる場合、特に日光にさらされる屋外タンクの場合、超音波レベル計の測定範囲は仕様に記載された範囲よりも大きく減少するので、レベル計選択の際はこのことを考慮してください。

液面上の気泡は、超音波レベル測定を困難にします。 発泡が最小となる場所を見つけるか(レベル計は 液体流入点からできるだけ離れた位置に取付けてく

液面上の気泡が1~2cmを超える場合には、測定 周波数の低い(40kHz)レベル計を推奨します。

ださい)、単管で筒上げをしてください。

測定周波数の低い(40kHz)レベル計を推奨します。

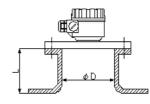


L	D (mn	以上)
(mm以内)	S36_	S34_
90	80	*
200	80	*
350	85	*
500	90	*

#### 風

超音波照射範囲の近傍では激しい空気(ガス)の動きは避けてください。強い通風は超音波を「吹き飛ばして」しまうおそれがあります。

測定周波数の低い(40kHz)レベル計を推奨します。



L	D (mm	心以上)
(mm以内)	S_S-36_	S_S-34_
320	80	
440	-	125

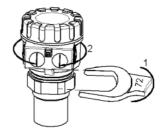
#### 4.2 開放水路の流量測定

- 精度良く測定するために、センサーは予想最高水位の近く(最小測定範囲参照)に設置してください。
- レベル計は、フリュームやせきの縦軸に沿って上流の、溢流や計測水路の特性から確定される場所に設置してください。弊社から支給されるパーシャル・フリュームにはセンサー位置マークが刻印されています。
- 測定精度の観点から、測定フリュームの上流および下流の水路区間の長さ、および測定水路区間への接続方法はきわめて重要です。
- 取付を正しくおこなったとしても、流量測定の精度は距離測定の精度よりも低くなります。精度はフリュームやせきの形状に依存します。

#### 4.3 設置·電気接続

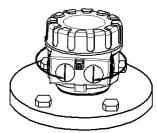
#### ねじ込み式(Gネジ/NPTネジ)モデルの設置

- 取付場所に本機をねじ込みます。レンチを使い強く締め付けます。 締め付けトルクは最大 20Nm。
- ・ 締め付け後、ハウジングを適切な位置に回転させることができます (安全ボルトは350°を越える回転を防ぎます)。



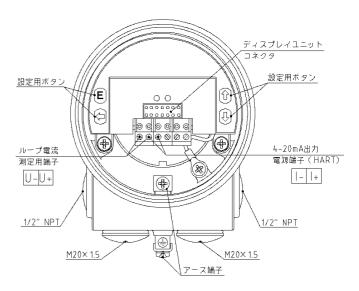
#### フランジモデルの設置

- タンク側フランジとのはめあいを確認し、フランジを固定してください。
- 取付け後、ハウジングを適切な位置に回転させる場合、左右それぞれ180°以上回転させないでください。機器が破損するおそれがあります。



#### 配線

- 静電気による電子回路の破損を防ぐために、接地点に触れて静電気を放電してから本機を取り扱ってください。
- 配線時、電源が遮断されていることを確認してください。
- ハウジングからカバーを取り外すと(SAP-200 を取り付けている場合はそれも取り外す)、端子台が見えます。
   0.5~1.5mm²のシールド線で結線してください。
   始めにアース端子を接地してください。
- 本機に電源を投入し、必要なプログラミングを行います。
- プログラミング終了後、配線引き込み口などの機密性を確認し、カバーを閉めます。



#### 4.4 ループ電流チェック

カバーを取り外し (SAP-200 を取り付けている場合はそれも取り外し)、上図のループ電流測定用端子に電圧計 (レンジ DC200mV) を接続すれば、ループ電流の値を確認することができます。(10mV=1mA)

## 5 プログラミング

EchoTREK は2種類の方法でプログラミングを行うことができます。

- ・ ディスプレイモジュールを使用しないプログラミング。詳細については 5.1 項参照。 レンジ設定、エラー発生時のアナログ出力方法、ダンピングが設定可能。
- SAP-200 ディスプレイモジュールを使用したプログラミング。詳細については 5.2 項参照。 出力モード、測定最適化、32 点リニアライズ、タンク容量/開放水路流量など、レベル計全ての機能が設定可能。

型番が EchoTREK SG口 のレベル計には、標準で SAP-200 が搭載されています。

EchoTREK は SAP-200 が無くても動作します。

SAP-200 はプログラミングを行うときや、測定値を表示する場合にのみ必要となります。

もし誤ってレベル計をプログラミングモードのままにした場合でも、30分後自動的に測定モードに戻り、最後に入力が完了したパラメーターで作動します。

EchoTREK は、プログラミングを行わなくても、電源が投入されると動作可能な状態になり、下記の工場出荷時の設定に従って動作します。

- ⇒ 表示…「LEVEL」
- ⇒ 電流出力とバーグラフはレベルに基づく。
- ⇒ 「4mA」…最小レベルに割り当てられます。出荷時設定:0%、空のタンク。
- ⇒ 「20mA」…最大レベルに割り当てられます。出荷時設定:100%、満杯のタンク。
- ⇒ 電流出力でのエラー表示「Hold」…エラー時、電流出力は直前値を保持。
- ⇒ 「ダンピング」…60秒

## 5.1 ディスプレイモジュールを使用しないプログラミング

プログラミングは、EchoTREKがターゲットから有効な反射波を受信している状態、すなわち「VALID」LEDが点灯している状態で、レベル測定モードの場合に行うことができます。

ディスプレイモジュールを使用しない場合、以下の設定が可能です。

- ・ アナログ出力の 4mA 値 (最小レベル/最大距離)
- アナログ出力の 20mA 値(最大レベル/最小距離)
- ・ 電流出力でのエラー表示(直前値を保持、3.6mA、22mA)
- ・ ダンピング時定数(10秒、30秒、60秒)
- ・ リセット(全パラメーターを工場出荷値に戻します)

注:電流出力は反転モード、すなわち 4mA=100% (満杯)、20mA=0% (空) でも使用できます。

## 「4mA」プログラミング(0%、空のタンク)

EchoTREK とターゲットが 4mA での距離になるように配置します。

動作	LED 表示	4	
1) 反射波を受信していることを確認します。	⊗● = 反射波を受信、プログラム可能		<b>-</b>
<ol> <li>NEXT[←]を押します。</li> </ol>	〇〇 = プログラミングモード		<b>************</b>
3) NEXT[←]+UP[↑]を押します。	●● = そのときの距離を 4mA に割り当	=	
S) NEXI[←]+UP[ ]を押しまり。	てます(右図参照)。		Ę.
4) ボタンを離します。	●● = プログラミング終了。		B

● = LED 点灯、〇 = LED 消灯、〇 = 不問

### 「20mA」プログラミング(100%、満杯のタンク)

EchoTREK とターゲットが 20mA での距離になるように配置します。

動作	LED 表示	JES.	I.
到 IF			
1) 反射波を受信していることを確認します。	⊗○ = 反射波を受信、プログラム可能		* *
<ol> <li>NEXT[←]を押します。</li> </ol>	●● = プログラミングモード		
3) NEXT[←]+DOWN[↓]を押します。	〇〇 = そのときの距離を 20mA に割り当		
O) MEVI[ [ ] DOMM[ \$ ] \$ 14 C \$ 9 °	てます(右図参照)。		
4) ボタンを離します。	●● = プログラミング終了		Ľ

■ = LED 点灯、○ = LED 消灯、⊗ = 不問

## 「エラー出力」プログラミング

反射波を受信している状態で行います。エラー発生時のアナログ出力を設定します。

動	作	LED 表示
1) UP[↑]を押します。		OO = プログラミングモード
2) いずれかのボタンを押し、	UP[↑]+DOWN[↓]	= 直前値を保持
表示方法を決めます。	UP[ ↑]+ENTER[E]	●● = 3.6mA
	UP[↑]+NEXT[←]	= 22mA
3) ボタンを離します。		〇〇 = プログラミング終了

## 「ダンピング」のプログラミング

反射波を受信している状態で行います。ダンピング時定数を設定します。

動	作	LED 表示
1) ENTER[E]を押します。		OO = プログラミングモード
2) いずれかのボタンを押し、	$ENTER[E]+NEXT[\leftarrow]$	= 10 秒
ダンピング時間を決めま	ENTER[E]+UP[ ↑]	●● = 30 秒
す。	ENTER[E]+DOWN[↓]	= 60 秒
3) ボタンを離します。		〇〇 = プログラミング終了

## リセット (工場出荷値に戻します)

反射波を受信している状態で行います。全パラメーターを工場出荷値に戻します。

動作	LED 表示
1) NEXT[←]を押します。	OO = プログラミングモード
2) NEXT[←]+ENTER[E]を押します。	●● = 工場出荷値に戻ります

#### プログラミング中のエラー表示(LED 表示)

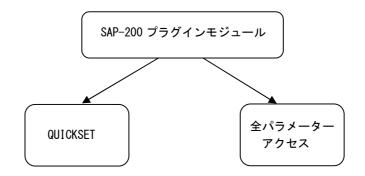
動作	LED 表示 = エラー表示	対処法
1) プログラミング中	◎◎ = 2回点滅 : 反射波喪失	有効な反射波を受信してください
2) プログラミング中	◎◎ = 3回点滅 : アクセス否定	SAP-200 でアクセスロック(P99)を解除してください
3) プログラミング中	◎◎ = 4回点滅 : レベル測定モードでない状態	SAP-200 で測定モード (P01) を変更してください

◎ = LED 点滅

## 5.2 SAP-200 ディスプレイモジュールを使ったプログラミング

SAP-200 ディスプレイモジュールは、プログラミング中のパラメーターの表示や、計測中の測定値を表示するのに使用します。

SAP-200 は、2 種類の方法でプログラミングを行うことができます。



#### (1) QUICKSET (5. 2. 3)

EchoTREK を動作する上で、最も基本的なパラメーターを手早く設定するモードです。 このメニュー駆動式プログラミングモードは以下の基本設定をサポートします。

- ・ 表示単位 (メートル法)
- · 最大測定距離
- · 4mA 出力值
- · 20mA 出力值
- ・ アナログ出力のエラー表示
- ・ ダンピング時定数

### ② 全パラメーターアクセス (5.2.4)

EchoTREK の全機能を設定するモードです。

例:

- · 測定構成
- ・ アナログ出力
- ・ 測定の最適化
- ・ タンク容量計算用のタンク形状プログラミング
- ・ 32 点リニアライズ
- · 開放水路流量測定機能

## 5.2.1 SAP-200 ディスプレイモジュール

## LCD で用いられている記号

- ・DIST 距離モード
- ・LEV レベルモード
- · **VOL** 体積モード
- ・FLOW 開放水路流量計測モード
- ・PROG プログラミングモード
- · **T1** TOT1 体積流量積算器
- ・**T2** TOT2 体積流量積算器
- ・FAIL 測定/レベル計エラー
- ・↑↓ レベル変化方向
- ・**バーグラフ** 電流出力または反射強度 に割り当てます



## 表示外枠で用いられている記号

- M メートル法
- US ヤード法(通常は使用しません)

#### LED

- · COM 通信中 LED 点灯
- ECHO レベル計がエコー信号を 受信している間 LED 点灯

#### 5.2.2 SAP-200 の LED 表示





#### LED 表示

- VALID (ECHO)
   反射波受信時点灯
- COM通信時点灯

## LCD で用いられている記号

DIST – 距離
 LEV – レベル
 VOL – 体積
 FLOW – 流量

T1 - TOT1 体積流量積算器T2 - TOT2 体積流量積算器

FAIL - (点滅) エラーコードの表示

NEXT[←]を押すと、読み出す値が順番に変化します。 以下の値を表示することができます。

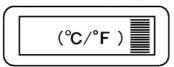
· 体積/流量- 設定時

レベル - 設定時・ 距離 - 設定時

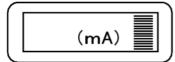
・ 警告表示 - 「FAIL」LED 点滅時

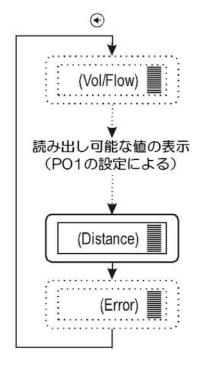
各表示モード間をスクロールするには、NEXT[←]を繰り返し押します。 選択した測定モード表示に戻るには、ENTER[E]を押します。

温度を見るには、UP[↑]を押します。



電流出力を見るには、DOWN[↓]を押します。





#### 5.2.3 QUICKSET

EchoTREK を簡単に手早く始動させる方法として推奨されます。

QUICKSET プログラミングは、レベル計の6つの基本パラメーターを設定するため6画面で構成されます。 その他のパラメーターの設定は、全パラメーターアクセスで行います。

このプログラミングモードのキー操作は、ディスプレイモジュールコネクター上部のフロントパネルにも表示されています。

「QUICKSET」の開始/終了およびその他のキー操作(計器本体にも記載されています)

+ -	機能
ENTER[E] + DOWN[↓] (3 秒間押す)	QUICKSETを開始または終了します
UP[↑] / DOWN[↓]	点滅している桁の数値を増加/減少させます
NEXT[←]	点滅する桁を左へ移動します
UP[↑] + DOWN[↓]	「GET LEVEL」 – EchoTREK の現在の測定値を求めます
ENTER[E]	画面の表示値を保存し、次の画面へ移動します
NEXT[←] + UP[↑]	変更内容を保存せずに QUICKSET を終了します
NEXT[←] + DOWN[↓]	画面に工場出荷値を読み込みます

画面	必要な設定
AP:xxyy	アプリケーションパラメーター         xx = 「EU」(欧州) メートル単位または「US」(米国式) 工学単位         yy = 液面測定用の「Li」を表示         デフォルト: EU
H:xxxx	最大測定距離…センサー面からタンク/サイロ底面までの距離 手動時:対応する値を入力します。 自動時:「GET LEVEL」機能を用いて EchoTREK の現在の測定値を求めます (「ECHO」 LED 点灯時のみ)。 表示部に現在の測定値が表示されます。 デフォルト:最大測定距離[m]、仕様欄を参照。
4:xxxx	「4mA」…4mA の電流出力に割り付けられる値 手動時:対応する値を入力します 自動時:「GET LEVEL」機能を用いて EchoTREK の現在の測定値を求めます (「ECHO」 LED 点灯時のみ)。 表示部に現在の測定値が表示されます。 デフォルト: Om (0%、空のタンク)
20:xxxx	「20mA」…20mA の電流出力に割り付けられる値 手動時:対応する値を入力します 自動時:「GET LEVEL」機能を用いて EchoTREK の現在の測定値を求めます (「ECHO」 LED 点灯時のみ)。 表示部に現在の測定値が表示されます。 デフォルト:範囲 = 最大測定距離 - 最小測定距離[m] (100%、満杯のタンク)
Er:xxxx	<b>電流出力でのエラー表示</b> …「Hold」、「3.6mA」、「22mA」の中から選んでください。 デフォルト:直前値を保持
dt: xxxx	<b>ダンピング</b> …必要なダンピング時間を選んでください。 デフォルト:60秒 でも、利用できます。 すなわち、4m4=100% (満杯)、20m4=0% (空)

注:電流出力は反転モードでも利用できます。すなわち、4mA=100%(満杯)、20mA=0%(空)

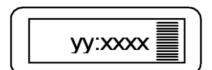
#### 5.2.4 全パラメーターアクセス

EchoTREK に備わっているすべての機能を設定・変更するためのモードです。 すべてのパラメーターの説明は、「6.パラメーター説明」の項にあります。

#### 「全パラメーターアクセス」の開始/終了

+ -	機能
ENTER[E] + NEXT[←]	全パラメーターアクセスモードに入るか、またそこから抜け出します。
(3 秒間押す)	

このプログラミングモードにおいて、表示部の表示は以下のようになります。



yy はパラメーターアドレスです。 xxxx はパラメーター値です。 証はバーグラフです。

+ -	パラメーターアドレス点滅中	パラメーター値点滅中
ENTER [E]	パラメーター値入力へ移ります。	パラメーター値の変更を確定し、パラメーターアドレス
		に戻ります。
NEXT[←] + UP[↑]	プログラミングを中止します。	パラメータ値の変更を中止します。変更内容を保存せず
	変更内容を保存せずに測定モードに戻ります。	にパラメーターアドレスに戻ります。
NEXT[←] + DOWN[↓]	レベル計全体を工場出荷値にリセットします。	デフォルトのパラメータ一値を表示します。
	この動作はすべてのパラメーターをリセットするので、	(ENTER キーを押すと保存できます)
	表示部には「LOAD」という表示が現れます。	
	・確定するには ENTER キーを押します	
	・エスケープするにはどれか別のキーを押します	
NEXT[←]	点滅している桁を左に動かします。	
UP[↑] / DOWN[↓]	点滅している桁を変化(増加、減少)させます。	

#### 注

- 1) プログラミング中は、プログラミング前のパラメーターに基づいて測定を行います。プログラミングした新しいパラメーターは、プログラミングモードを終了し測定モードに移行した時点で有効になります。
- 2) もしそのパラメーター値へのアクセスが不可能で、ENTER[E]を押した後もパラメーターアドレスが点滅し続けたなら、そのパラメーターは読み出し専用であるか、暗号コードが変更を禁止しています。(P99 参照)
- 3) もしそのパラメーター変更が受け入れられず、ENTER[E]を押した後もパラメーター値が点滅し続けたなら、変更後の値が範囲外であるか、あるいは入力したコードがこのパラメーターに対して有効ではありません。

# 6 パラメーター説明

## 6.1 測定構成

P00: -cba アプリケーションパラメーター

このパラメーターを変更すると、他のすべてのユーザーパラメーターがリセットされます。

注意

а	動作(測定)モード
0	液体測定

h	計算単位("c"による)
b	メートル法
0	m
1	cm

C*	計算単位系
0	メートル法

工場出荷值:000

\* 注意 このパラメーターを 0 以外の数値には設定しないでください。誤動作の原因となります。

P01: -ba 測定值

表示、電流出力は、選択された測定値に対応する工学単位で解釈されます。 測定モードで NEXT[←]ボタンを押していくと、下表の「表示される変数」に示される値が順に表示されます。 ENTER[E]ボタンを押すと基本の表示値に戻ります。

а	測定値	表示記号	表示される変数
0	距離	DIST	距離
1	液面	LEV	レベル、距離
2	液面(%)	LEV%	レベル(%)、レベル、距離
3	体積	V0L	体積、レベル、距離
4	体積(%)	VOL%	体積(%)、体積、レベル、距離
5	流量	FLOW	流量、TOT1、TOT2、レベル、距離

b	バーグラフ表示
0	反射強度
1	電流出力

工場出荷値:11

#### P02: -cba 計算単位

а	温度
0	°C
1	°F

この表は P00 (c) 、P01 (a) 、P02 (c) によって解釈され、また百分率測定 (P01 (a) =2 または 4) の場合には無意味になります。

b	体積	流量
0	$m^3$	m³/time
1	Liter	liter/time

С	時間
0	秒
1	分
2	時間
3	日

工場出荷値:000

#### P03: ---a 表示最小桁の丸め方

EchoTREK は、基本量として距離を測定します。

測定距離	測定精度
Xmin - 2m	1mm
2m - 5m	2mm
5m - 10m	5mm
10m 以上	1 Omm

距離についての精度は、レベルや体積、流量 といった値についても考慮されます。

## 体積や流量の表示

表示する値	表示フォーマット
0.000 - 9.999	X. XXX
10. 000 - 99. 999	XX. XX
100.000 - 999.999	XXX. X
1000. 000 - 9999. 999	XXXX. X
10000.000 - 99999.999	XXXXX. X
10万 - 9.99999×10 <sup>9</sup>	x. xxxx : e (指数表示)
100 万以上	(桁あふれ)Err4

表示する値が大きくなると、左表が示すように小数点がシフトします。
10 万以上の値は、指数表示します。
100 万を超える値は、桁あふれとして
Err4(オーバーフロー)が表示されます。

## 表示の最小桁を丸めかた

а	丸めた値
0	丸めなし
1	2
2	5
3	10
4	20
5	50

体積や流量を表示させると、基本となる距離の変動が計算により大きくなります。 体積や流量の表示値の変動を小さくする為 に、パラメーター PO3 で最小桁を丸めます。 例:

P03=1 2刻み:1,000;1,002;1,004 P03=5 50刻み:1,000;1,050;1,100 または、10,00;10,05(0);10,10(0)

(0)は表示されません。

工場出荷値:0

## P04: 最大測定距離

距離測定モード以外では、このパラメーターを設定する必要があります。PO4の工場設定値(下表参照)は NEXT[←]キーと DOWN[↓]キーを同時に押すことにより表示されます。

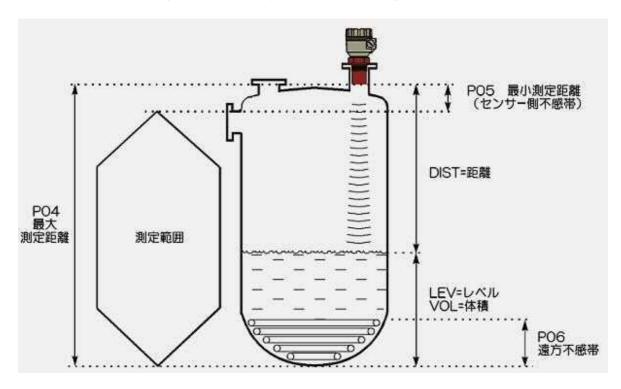
EchoTREK	センサーの材質/工場設定値(単位 m)		
液体用レベル計	PP/PVDF	PTFE	ステンレス鋼
S-39	4	3	-
S-38	6	5	-
S-37	8	6	-
S-36	10	-	7
S-34	15	-	12

レベル計算の精度はこのパラメーター設定に影響されます。

#### レベル=P04-距離

液面測定で精度良く測定するためには、まず EchoTREK で空のタンクを測定してください。

「GET LEVEL」機能 (UP[↑]キーと DOWN[↓]キーを同時に押す) を用いて、現在の測定値を求めます (「ECHO」 LED 点灯中のみ)。表示部に現在の測定値が表示されます。測定値を PO4 に入力します。



最大測定距離の表示は、下表のフォーマットにしたがいます。

工業単位	表示フォーマット
m	x. xxx または xx. xx
cm	XXX. X

## P05: 最小測定距離 (センサー側不感帯)

EchoTREK はここで設定するセンサー側不感帯の範囲内では反射波を受け付けません。

#### 自動不感帯制御

工場設定値を使って、最小のセンサー側不感帯を自動的に設定します。

## 手動センサー側不感帯

工場設定値より大きい値を入力することにより最小測定範囲を長くし、特定の値に固定できます。

手動センサー側不感帯を使うことにより、例えば筒上げ用円筒の底のへりや超音波ビーム内に突き出ている物からの反射波を取り除くことができます。

工場設定値を再入力すれば自動不感帯制御に戻ります。

最小測定距離の工場出荷値(工場設定値を読み込むには NEXT キー[←]と DOWN キー[↓]を押します)

-X 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	- MANCIE CHO - NE O : - IO :	·-··· , · · · · ·	
EchoTREK	センサーの材質/工場設定値(単位 m)		
液体用レベル計	PP/PVDF	PTFE	ステンレス鋼
S-39	0.2	0. 25	_
S-38	0. 25	0. 25	_
S-37	0. 35	0. 35	_
S-36	0. 35	_	0. 4
S-34	0. 45	_	0. 55

工場出荷値:センサーによる不感帯自動設定

あらかじめ遠方不感帯を使用することにより、P06 で設定した値以下ではレベル/体積の測定値や出力を不正確なものとして無視します。

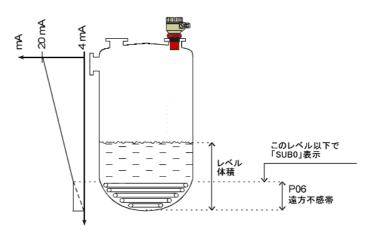
#### A)レベル測定

遠方不感帯は、タンク底の攪拌器やヒーター などの障害物からの影響を取り除くために 使用します。

# 被測定物のレベルが遠方不感帯より下になった場合:

コントローラーは次のように動作します。

- 表示部に「sub0」と表示します。
- 電流出力は、前の値を保持します。



## 被測定物のレベルが遠方不感帯より上の場合:

レベルおよび体積の計算は設定されたタンクの寸法に基づいて行われるため、遠方不感帯の入力値は測定値に 全く影響を与えません。

#### B) 開放水路の流量測定

遠方不感帯を使用することにより、あらかじめ設定した値以下では体積流量の測定値や出力を不正確なものとして無視します。ただし、正しい体積流量の計算はできなくなります。

#### フリューム/セキの液面が遠方不感帯より下になった場合:

- コントローラーは次のように動作します。
- 表示部に「No Flow」と表示します。
- 電流出力は最後の有効値を保持します。

#### フリューム/セキの液面が遠方不感帯より上の場合:

体積流量の計算は設定されたフリューム/セキのデータに基づいて行われるため、遠方不感帯の入力は測定値 に全く影響を与えません。

工場出荷値:0

#### 6.2 電流出力

P10:4mA 電流出力に割り当てる値P11:20mA 電流出力に割り当てる値

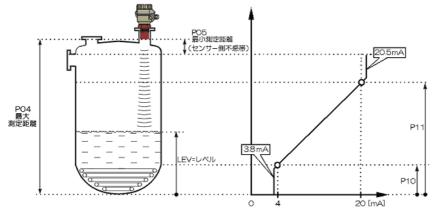
P01(a) に従った値を設定します(工場出荷時はレベルに基づく値を設定しています)。例えば P01(a) を 0 (距離測定モード) に設定した場合、P10, P11 はセンサー面からの距離を設定する必要があります。また P01(a) を 2, 4 (レベル%, 容積%) に設定した場合、P10, P11 にはレベル、容積値を設定してください。 P10>P11 と設定した場合、電流出力は自動的に反転します。

## 工場出荷値:

P10: O レベル (最大測定距離) P11: 最大レベル (最小測定距離)

#### 測定値をレベルに設定した場合の設定

P10, P11 は被測定物のレベルを入力します。



## 設定例

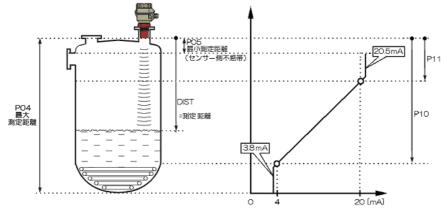
最大測定距離 6m で、

- 4mの距離で4mA(0%)、
- ・1mの距離で20mA(100%) に設定するときは、

P04=6.00 P10=2.00 (P04-設定したい距離) P11=5.00 (P04-設定したい距離) と設定します。

## 測定値を距離に設定した場合の設定

P10, P11 はセンサーから被測定物表面までの距離を入力します。



## 設定例

最大測定距離 6m で、

- · 4m の距離で 4mA(0%)、
- ・1mの距離で20mA(100%) に設定するときは、

P04=6.00

P10=4.0 (設定したい距離) P11=1.0 (設定したい距離) と設定します。

## P12: ---a "No Echo"表示時の出力設定

反射波喪失状態が生じ P28 (反射波喪失の取扱い) の設定に応じて"No Echo"の表示となったときの電流出力値を設定します。"No Echo"発生時、電流出力を安全側へ強制出力したい場合、用途に応じて1または2を設定します。

а	エラー表示(NAMUR による)
0	直前値を保持
1	3.8mA
2	22mA

工場出荷値:0

## 6.3 測定の最適化

## P20: ---a ダンピング(減衰) 時定数

このパラメーターを設定することにより、表示および出力の脈動を抑えます。

ダンピング		液体		
а	(減衰)時定数	なし/中位の	重/濃煙	
	(秒)	煙または波	または激しい波	
0	なし	テスト用	にのみ推奨	
1	3	適用可	推奨せず	
2	6	推奨	適用可	
3	10	推奨	推奨	
4	30	推奨	推奨	
5	60	推奨	推奨	

工場出荷値:60秒

## P22: ---a 丸屋根タンクの補正

	а	補正	備考
	0	なし	EchoTREK をタンク中央に取り付けず、天井が平らな場合
ĺ	1	あり	EchoTREK を丸屋根タンクの中央に取り付けた場合

工場出荷値:0

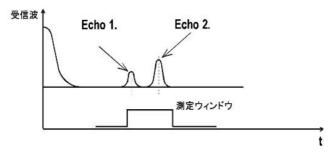
## P24: ---a 目標追従速度

а	追従速度	備考
0	標準	ほとんどの用途向け
1	速い	レベル変動が速い場合
2	特殊	特殊な用途専用
		(測定範囲がセンサーの公称測定範囲の 50%に減少します)
		測定ウィンドウが不活発になり、EchoTREK は任意の目標に即座
		に応答します。レベル変動が速い場合に推奨します。しかし通
		常はレベル測定には適さない設定です。

工場設定値:0

#### P25: ---a 測定ウィンドウ内の反射波除去

選択したターゲットからの反射波信号の周囲に測定ウィンドウが形成されます。この測定ウィンドウの位置をもとに被測定物との距離を算出します。(オシロスコープを使うと下図のような波形をみることができます。)



用途によっては、測定ウィンドウの中に多重反射波が入り込むような場合もあります。このパラメーターは、 測定ウィンドウ内で選択される反射波をさらに限定するためのものです。

а	測定ウィンドウ内の反射波選択	備考
0	最高振幅の反射波	ほとんどの用途
1	最初の反射波	測定ウィンドウ内に多重反射が存在するような液面測定用途

工場設定値:0

P26: (m/h)レベル上昇速度 (充填速度)P27: (m/h)レベル下降速度 (排出速度)

煙霧/蒸気の影響が激しい用途に対し、これらのパラメーターを使って反射波喪失に対する保護機能を強化する ことができます。

これらのパラメーターには、実際の充填および排出速度よりも小さな(遅い)値は設定してはいけません。 その他の用途では、工場出荷時の値を使用してください。

工場出荷値: P26、P27 ともに 2000

P28: ----a 反射波喪失の取扱い

а	反射波喪失エラーの	備考		
_ a	表示			
		反射喪失中、表示とアナログ出力は直前値を保持します。 もし反射波喪失が10秒と、P20で設定した時間との合計長さにわたったら、表示 部は「No Echo」に変わり、出力はP12で設定した「エラー時の出力設定」に応じ て変わります。		
		値を保持します 値は点滅します NO ECTIO		
0	遅延			
		IJ- <u>D</u> Z		
		LED消灯 電流値=22mA P12=2		
		電流出力 値を保持 値を保持 P12=0		
		電流値=3.8mA P12=1		
1	なし			
	;#+T1-10/-	充填時の場合、反射波喪失中、表示部の読みとアナログ出力は P26 で事前設定し		
2	満杯に移行	たレベル上昇速度(充填速度)でタンク「満杯」状態に向けて移行します。		
及射波喪失の場合、表示部はただちに「No Echo」に変わり、出力 事前設定した「エラー表示モード」に応じて変化します。		反射波喪失の場合、表示部はただちに「No Echo」に変わり、出力はP12で		
		事前設定した「エラー表示モード」に応じて変化します。		
	空のタンクでは反射	反射波喪失は、球形底面を持ったタンクが完全に空のとき。斜め反射によって生じることがあり、また排出口が開放型のサイロでも生じることがあります。		
4	波喪失の表示なし	タンクが完全に空のとき反射波が失われたら、表示は空タンクに一致し、		
		それ以外で反射波が失われたら、表示は「遅延」に従います。		

工場出荷値:0

#### P29: 障害物の遮蔽

測定を妨害するタンク内の固定物体を遮蔽できます。

センサからその物体までの距離を入力してください。妨害物の精密な距離を読み出すにはエコーマップ (P70)を使用します。

工場出荷値:0

## P31: 20℃における音速 (P00(c)に応じて m/sec)

測定される液面上にガスが存在し、ガス中の音速が空中の音速と大きく異なっている場合、このパラメーターを使用します。

ガスが均一であるような用途に推奨されます。そうでない場合には、32点リニアライズ (P47、P48) を用いて測定の精度を上げることができます。

各種ガス内の音速については「8.各種ガス中の音速」を参照してください。

工場出荷值:343.8 (m/sec)

## 6.4 容量計算(タンク形状補正)

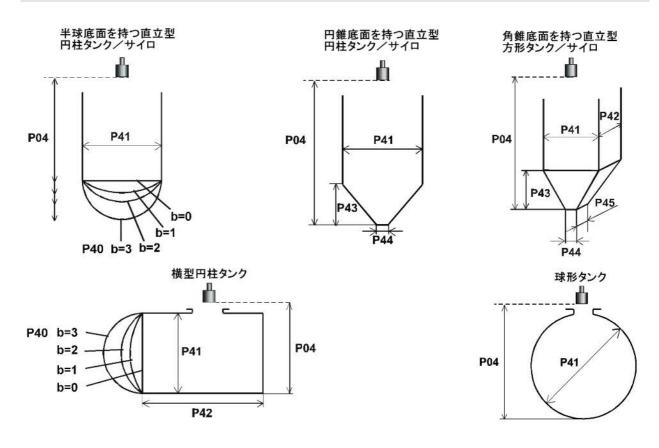
P40: --ba タンク/サイロの形状

パラメーター「a」の値をはじめに設定します。

ba	タンクの形状	その他に設定するパラメーター
b0	半球底面を持つ直立型円柱タンク	P40 (b) 、P41
01	円錐底面を持つ直立型円柱タンク	P41、P43、P44
02	角錐底面を持つ直立型円柱タンク	P41、P42、(P43、P44、P45)
b3	横型円柱タンク	P40 (b) 、P41、P42
04	球形タンク	P41

工場設定值:00

P41-45: タンク/サイロの外形寸法



## 6.5 体積流量計算

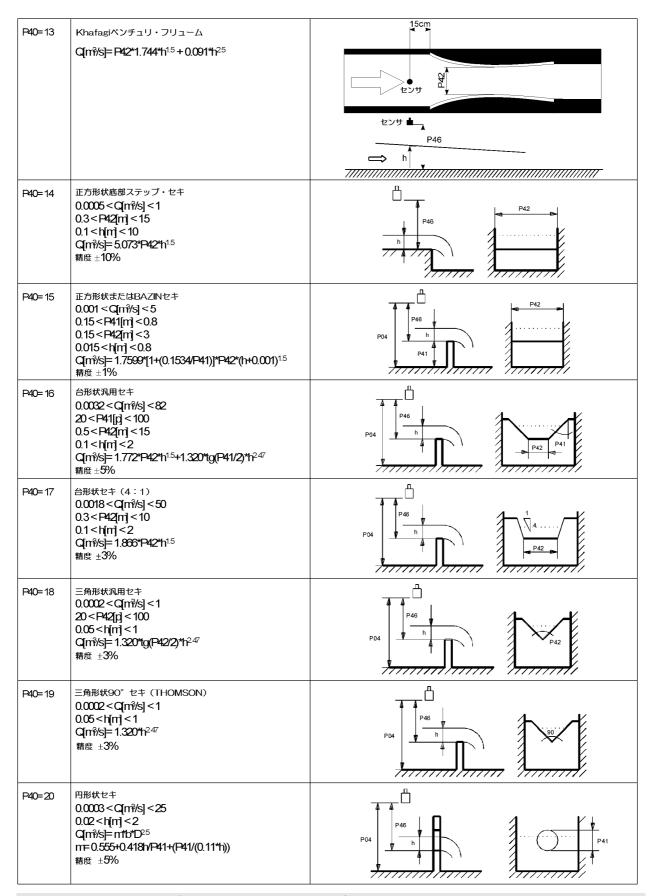
## P40: --ba 流量計測の原理

		流量計測の原理			その他に設定するパラメータ		
		タイプ	計算式	Qmin [l/s]	Qmax [l/s]	"P' [an]	
00	4	CPA1P1	Q[/s]=60.87*h <sup>1.552</sup>	0.26	5.38	30	P46
01	l i	CPA1P2	Q[l/s]=119.7*h <sup>1.553</sup>	0.52	13.3	34	P46
02	בטי	CPA1P3	Q[/s]= 178.4*h <sup>1.555</sup>	0.78	49	39	P46
œ	·	CPA1P4	Q[/s]=353.9*h <sup>1.558</sup>	1.52	164	53	P46
04	1/4	CPA1P5	Q[/s]=521.4*h <sup>1.558</sup>	225	360	75	P46
05	🌣	CPA1P6	Q[l/s]=674.6*h <sup>1.556</sup>	291	570	120	P46
06	😤	CPA1P7	Q[/s]=1014.9*h <sup>1.556</sup>	4.4	890	130	P46
07	Nvelco /∜	CPA1P8	Q[/s]=1368*h <sup>1.5638</sup>	5.8	1208	135	P46
08	<del>ž</del>	CPA1P9	Q[/s]=2080.5*h <sup>1.5689</sup>	8.7	1850	150	P46
09	汎用パーシャル			P46, P42			
10	パーマボーラス ( <b>D′2</b> )				P46, P41		
11	パーマボーラス (D3)			P46, P41			
12	パーマボーラス (正方形状)			P46, P41, P42			
13	Khafagiベンチュリ・フリューム			P46, P42			
14	正方形状底部ステップ・セキ			P46, P42			
15	正方形状またはBAZINセキ			P46, P41, P42			
16	台形状汎用セキ			P46, P41, P42			
17	台形状セキ(4:1)			P46, P42			
18	三角形状汎用セキ			P46, P42			
19	三角形状90°セキ(THOMSON)			P46			
20	円形状セキ			P46, P41			
21	一般方式: Q[/s]= 1000*P41*h <sup>P-12</sup> , h [m]			P46, P41, P42			

# P41-45: フリューム/セキの寸法

工場出荷値:0

P40=00		
	Nivelcoパーシャル・フリューム(GPA-1P1〜GPA-1P9)	So de la constant de
P40=09	<ul> <li>汎用パーシャル・フリューム</li> <li>0.305 &lt; P42(width) &lt; 2.44</li> <li>Q[m³/s]=0.372*P42*(h0.305)<sup>1.559*s</sup></li> <li>5[m] K</li> <li>3.05 2.450</li> <li>Q[m³/s]=K*P42*h<sup>1.6</sup></li> <li>4.57 2.400</li> <li>6.10 2.370</li> <li>7.62 2.350</li> <li>P=2/3*A</li> <li>9.14 2.340</li> <li>15.24 2.320</li> </ul>	P + P42
P40=10	パーマポーラス (D/2) フリューム Q[m²/s]=f(h1/P41)*P41 <sup>25</sup> , where h1[m]= h+(P41/10)	P04 P46 P46 P46 P46
P40=11	パーマポーラス (D/3) フリューム Q[m²/s]= f(h1/P41)*P41 <sup>25</sup> , where h1[m]= h+(P41/10)	P04 P46 P46 P46 P46
P40=12	パーマポーラス(正方形状)フリューム C[m²/s]= C*P42*h <sup>15</sup> , where C= f(P41/P42)	P41 P46



P46: Q=0 のときのセンサー面とレベル間の距離

P46 は流量が 0 のときのセンサー面と液面間の距離です。

工場出荷値:0

### 6.6 32 点リニアライズ曲線

P47: ---a リニアライズモード

а	リニアライズモード	
0	なし(工場出荷値)	
1	あり	

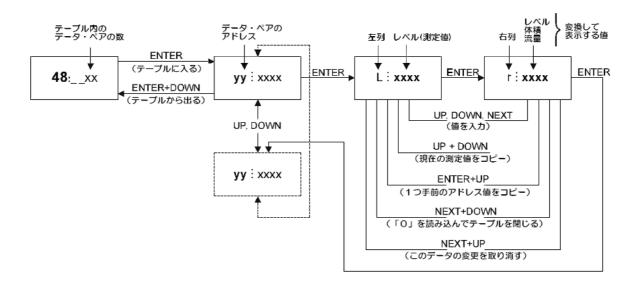
P48: リニアライズテーブル

リニアライズテーブルのデータペアは、2列32行から成る行列で取り扱われます。

左列「L」	右列「r」
レベル	レベルまたは体積または流量

左列 (表示部に「L」と表示される)には、測定された LEVEL 値が入ります。

右列(表示部に「r」と表示される)には、校正後の値が入り、P01(a)で選択された測定値に従って解釈されます。



#### 正常動作の条件

左列「L」	右列「r」
L(1)=0	r (1)
L( i )	r ( i )
:	:
L( j )	r ( j )

- テーブルは常にL(1)=0 およびr(1)=(対応する値)からスタートしなければなりません。
- テーブルの終末条件: j=32 または、L(j)=0
- 直線化テーブルが 32 未満のデータ・ペアしか含んでいないとき、左列には、最後の有効データより後には「O」を置かなければなりません。: L(j<32)=0
- EchoTREK はこの「O」より先のデータを無視します。
- ・ 以上の条件が満たされない場合、エラーコードが表示されます(7. エラーコードを参照)。

## 6.7 情報提供パラメーター

P60: (h) レベル計の全体的な動作時間

P61: (h) 最後にスイッチを入れてからの経過時間

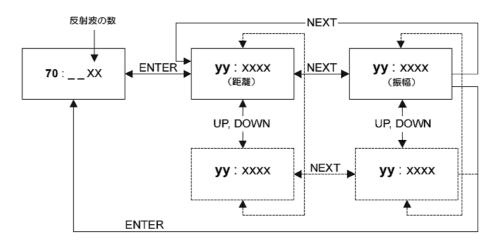
表示は動作時間によって変化します。

P64: (°C) センサーの現在温度 P65: (°C) センサーの最高温度 P66: (°C) センサーの最低温度

温度回路の故障の場合は"PtError"が表示され、温度が20℃であるものとして動作します。

#### P70: 反射波の数/エコーマップ

このパラメーターを見れば、システムが検出している反射波の数がわかります。このパラメーターを入力すると、現在のエコーマップが呼び出され、それらの反射波の距離と振幅を1つ1つ読み出すことができます。



yy: エコーの番号 xxxx: 距離及び振幅

#### P71: (DIST) 測定ウィンドウの位置

測定ウィンドウの距離が表示されます。反射波が検出されていない場合、"no Ec" と表示されます。

## P72: (dB) 測定ウィンドウ内の反射波の振幅

測定ウィンドウ内の反射波の振幅が表示されます。

## P73: (msec) エコーポジション (時間)

反射波が返ってくるまでの時間が表示されます。

### P74: 信号/雑音比 (S/N 比)

測定状況をこの数値で知ることができます。この数値は0~100の数値で表示されます。

S/N 比	測定状況
70 以上	非常に良い
70~30	良い
30 以下	悪い

## P75: ブロッキング距離

現在のセンサー側不感帯が表示されます。

P05 で自動不感帯制御が選択されている場合は有効な区間が表示されます。

#### 6.8 開放水路流量計測の追加機能

P76: (LEV) 上流側の高さ

水頭値をここでチェックできます。これは流量計算のための「h」値です。

P77: TON1 体積流量積算器

P78: TON2 体積流量積算器

## TOT1 積算器のリセット

- 1) パラメーター P77 まで進みます。
- NEXT[←] + DOWN[↓]を同時に押します。
- 3) 表示部には「t1 Clr」と表示されます。
- 4) ENTER[E]を押すと、TOT1 がリセットされます。

#### 6.9 テストパラメーター

P80:(mA) アナログ出力テスト

このパラメーターでは、現在の電流出力値が表示されます。 [E] を押すと表示が点滅しますので、出力させたい電流値を 3.8~22mA の値を入力し、出力が表示された値と同じであることを直流電流計で測定するか、「4.4 ループ電流チェック」の様にループ電流測定用端子に電圧計 (レンジ DC200mV) を接続し測定してください。再度 [E] を押すと、テストモードを終了しパラメーターアドレスに戻ります。

P97: b:a. aa ソフトウェアコード

a. aa: ソフトウェア改訂番号b: ソフトウェアコード

## 6.10 シミュレーションモード

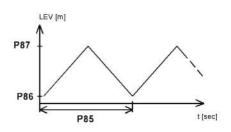
この機能によって、各出力の設定をテストすることができます。

EchoTREK は事前設定されたシミュレーションパラメーターに応じてレベルの変化をシミュレートできます。 シミュレーションモードをはじめるには、測定モードに戻ってください。

EchoTREK がシミュレーションモードにあるとき、DIST, LEV, VOL のいずれかの記号が点滅します。 シミュレーションを止めるには、P84=0 と設定してください。

## P84: ---x シミュレーションモード

х	シミュレーションの種類
0	シミュレーションしない
"	(工場出荷値)
1	レベルは P86 と P87 で設定したレベル間の値を、
'	P85 で設定したサイクル時間で連続的に上下します。
2	静的レベルシミュレーション: レベルは P86 で設定した
4	値になります。



シミュレーションでのレベルは、設定した測定範囲内(PO4 および PO5)に無ければなりません。

 P85: (sec)
 シミュレーションの周期

 P86: (m)
 シミュレーションの下限値

 P87: (m)
 シミュレーションの上限値

## 6.11 アクセスロック

## P99: dcba 暗号コードによるアクセスロック

この機能は、誤った(あるいは意図的な)変数の再設定に対する保護が目的です。

暗号コードは 0000 以外の数字です。コントローラーを測定モードに戻したとき、暗号コードの設定が自動的に有効になります。暗号コードが有効になると変数は値を確認できるだけになり、コロンの点滅がそれを知らせます。

暗号コードでロックされたコントローラーの設定を行うには、まず P99 にその暗号コードを入力しなければなりません。コントローラーが測定モードに戻ったとき、暗号コードが再度有効になります。

暗号コードを取り消すには、P99 に暗号コードを入力し、[E]を使って確認の後、再度変数 P99 に入り 0000 を入力します。

[dcba(暗号コード)] → [E] → [E] → [0000] → [E] ⇒ 暗号コード消去

# 7 エラーコード

エラーコ	説明	原因と処置
_ <b>ド</b>		
1	メモリーエラー	弊社販売員にお問い合わせください
		反射波を受信しない (反射なし)
No Echo	反射波喪失	設置場所、設置条件、設置パラメーター、測定範囲、選定機種等
		を確認してください
3	機器異常	弊社販売員にお問い合わせください
4	オーバーフロー	設定内容を確認してください
5	センサーまたは不適切な取り付け/	使用目的にあったセンサーかどうかを確認し、取扱説明書に沿っ
3	不感帯内にレベルがある	て正しく取り付けられているか確認してください
6	測定の信頼性が限界にきている	よりよい取付場所を捜してください
7	P04 と P05 で指定された測定範囲内	設定内容を見直し、取付けに誤りがないか確認してください
	で信号が受信されない	
	リニアライズ表のエラー:L(1)と	「32 点リニアライズ曲線」の項を参照してください
12	L(2)が両方ともに 0	
	(有効なデータペアがない)	
13	リニアライズ表のエラー :同じL(i)	「32 点リニアライズ曲線」の項を参照してください
10	データが表の中に2回現れる	
14	リニアライズ表のエラー:r(i)値	「32 点リニアライズ曲線」の項を参照してください
17	が単純増加でない	
	リニアライズ表のエラー:レベルの	「32 点リニアライズ曲線」の項を参照してください
15	測定値が最後の体積流量データペア	
	より大きい	
16	EEPROM に書き込まれたプログラムの	弊社販売員にお問い合わせください
10	チェックサムが誤っている	
17	パラメーターの整合性に問題がある	パラメーターの設定値を確認してください
18	機器故障	弊社販売員にお問い合わせください

# 8 各種ガス中の音速

以下の表は20℃で測定された各種ガス中の音速を示しています。

気 体		音の速度(m/s)
アセトアルデヒト	C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O	252. 8
アセチレン	$C_2H_2$	340. 8
アンモニア	NH <sub>3</sub>	429. 9
アルゴン	Ar	319. 1
ベンゾール	<b>C</b> 6 <b>H</b> 6	183. 4
二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	268. 3
一酸化炭素	CO	349. 2
四塩化炭素	CC14	150. 2
塩素	Cl2	212. 7
ジメチルエーテル	СН3ОСН3	213. 4
エタン	C <sub>2</sub> H <sub>6</sub>	327. 4
エタノール	C <sub>2</sub> H <sub>3</sub> OH	267. 3
エチレン	$C_2H_4$	329. 4
ヘリウム	He	994. 5
硫化水素	H <sub>2</sub> S	321.1
メタン	CH <sub>4</sub>	445. 5
メタノール	CH₃OH	347
ネオン	Ne	449. 6
窒素	N <sub>2</sub>	349. 1
一酸化窒素	NO	346
酸素	02	328. 6
プロパン	C <sub>3</sub> H <sub>8</sub>	246. 5
六フッ化硫黄	SF <sub>6</sub>	137. 8

# 9 パラメーター設定表

No.	設定項目	設定値	No.	設定項目	設定値	
基本設定			測定の最適化			
P00	アプリケーションパラメーター		P20 ダンピング時定数			
P01	測定モード		P22	丸屋根タンクの補正		
P02	計算単位		P24	目標追従速度		
P03	表示最小桁の丸め方		P25	測定ウィンドウ内の反射波除去		
P04	最大測定距離		P26	レベル上昇速度		
P05	最小測定距離(センサー側不感帯)		P27	レベル下降速度		
P06	遠方不感帯		P28	反射波喪失の取扱い		
	アナログ出力設定		P29	障害物の遮蔽		
P10	4mA 出力値		P31	音速		
P11	20mA 出力値		P47	リニアライズモード		
P12	エラー出力設定					

P10, P11 は測定モード (P01(a)) に応じた値を設定してください。

容量	測定 (P01(a)=3, 4) /流量測定 (P0	)1(a)=5) 設定	11	
P40	タンク・サイロの形状 / フリューム・セキの形状		12	
P41	タンク・サイロの寸法 / フリューム・セキの寸法		13	
P42	タンク・サイロの寸法 / フリューム・セキの寸法		14	
P43	タンク・サイロの寸法 / フリューム・セキの寸法		15	
P44	タンク・サイロの寸法 / フリューム・セキの寸法		16	
P45	タンク・サイロの寸法 / フリューム・セキの寸法		17	
	流量計測設定		18	
P46	センサーと h=0 間の距離		19	
	リニアライズモード(P47=1)の	設定	20	
P48	948 リニアライズテーブル		21	
i	L (i)	r (i)	22	
1			23	
2			24	
3			25	
4			26	
5			27	
6	6		28	
7			29	
8			30	
9			31	
10			32	

## 情報パラメーター

P61	電源投入後の経過時間	P70	エコーマップ	
P64	センサーの現在温度	P71	測定ウィンドウの位置	
P65	センサーの最高温度	P72	反射波振幅	
P66	センサーの最低温度	P73	エコーポジション	
		P74	信号/雑音比	
		P75	ブロッキング距離	

# 10 トラブル対応

トラブルの種類別に、推測される原因と対策を記載しますので、トラブル発生時の参考にして下さい。

## トラブル1 表示異常

現象	現象 1.1:SAP-200 ディスプレイモジュールに何も表示されない					
原因			対処法			
	電源が未供給		配線を確認し電源を投入する			
-	電源電圧が不適切である	•	電源端子の電圧が仕様にあった供給電圧かどうか			
			確認する			
-	SAP-200 モジュールが破損している	•	SAP-200 モジュールを新品に交換する			
	機器本体が破損している		新品に交換する			

現象	象1.2:"No ECHO"と表示される		
	原因		対策
-	超音波発振部の保護用カバーが取り付いてい	•	保護用カバーを取り外す
	<b>న</b>		
-	被測定物が最大測定距離より遠方にある	•	P04(最大測定距離)を確認し、適切な値に修正する
			最大測定長の長いセンサーに変更する
-	センサーが液面に対して水平に取り付いてい	•	センサーを液面に対して水平に取り付ける
	ない		

## トラブル2 出力異常

現象	現象 2: アナログ出力がふらつく				
	原因		対策		
-	負荷抵抗が許容範囲を超えている	•	許容負荷抵抗以内で使用する		
-	ノイズが混入している	•	シールド線を使用し、シールドを 1 点接地する		
	測定面の波立ちや凹凸が大きい、この場合測定		P20 (ダンピング時定数) を大きな値に変更する		
	値の表示もふらつく		P25 (測定ウィンドウ内の反射波除去) の設定を		
			変更する		

## トラブル3 計測異常

現象 3.1: レベルは変化しているのに指示が変化しない					
原因	対策				
・ 測定面からの反射が弱い	<ul><li>センサーが液面に対して水平に取り付けられていることを確認する</li></ul>				

現象3.2:測定値が上限に振り切れる					
原因	対策				
- 上限付近に障害物などがある	<ul><li>障害物を除去できる場合は除去する</li><li>P05(最小測定距離)を障害物が遮蔽できる範囲に 設定する</li></ul>				
<ul><li>センサー付近に側壁や金属構造物があるか、 接触しているためリンギングが伸張している</li></ul>	センサーを構造物から離れた位置に取り付ける     P05 (最小測定距離) を工場設定値に 0.4~1m 加えた値 を設定する				

現	現象33:測定値が測定面より低めに指示される					
	原因		対策			
-	被測定物が不感帯(最小測定距離)内に侵入し	•	取付けの高さを変更する			
	ている		P05(最小測定距離)を減少させる。			
			ただし、工場設定値より小さな値は入力できない			
-	タンク中心に取り付けているなどセンサーが	•	取付位置を変更する			
	集音する位置に取り付けられ、多重反射が発生	•	P22 (丸屋根タンクの補正)を1に設定する			
	している					

現象	現象 3.4:計測面の変化に対して応答性が悪い					
	対策					
-	被測定物のレベル変化が速い	•	P24(目標追従速度)を1または2に設定する			
-	P26, P27 (レベル上昇・下降速度) の設定が不		P26 は実際の充填速度よりも大きな値を、			
	適切		P27 は実際の排出速度よりも大きな値を設定する			
•	P20 (ダンピング時定数) が大きい		P20 を小さな値に設定する			

## 11 メンテナンス

超音波式レベル計は、基本的にメンテナンスフリーでご使用いただけますが、システム保護のために機器の点検を 定期的に行うことを推奨します。推奨点検項目を下表にまとめましたので、定期点検を行う際に御利用ください。

点 検 日	年	月	日
設置場所			
点 検 者			

<u>定期点検用チェックリスト</u>

型式: 製造番号: Tag No. :

点検項目	方法	良否判定	良否	対策等
外観	目視	本体に破損や変色が無いこと。		程度により修理または交換。
(付着物等)		センサー表面に付着や破損、変色が		付着物除去。
		無いこと		
発振状態	発振音を耳で聞く	超音波の発振音がすること		全く音がしない場合は電源の
				供給確認
アナログ出力	P80 にて擬似出力	擬似出力の値を出力していること		場合により修理
温度センサー	P64 にてチェック	センサー周辺の温度を表示すること		大幅に異なる場合は修理
精度	通常測定状態で	当初の測定精度が得られること※		場合により修理
(0. 25%FS)	実測			
端子	目視、ドライバに	ネジゆるみやリード線のショート等		締め付け直し、再結線
	よる締め付け	無いこと		または交換

<sup>※</sup> 計測面が平面で水平、温度分布が均一条件、ベーパ・ガス・粉塵が無い条件下にて。



〒566-0045 大阪府摂津市南別府町 3-5

本社営業

URL http://www.towa-seiden.co.jp

TEL. 06-6340-5522 FAX. 06-6340-5519